GIFU LEADER'S VOICE 2019

株式会社ボンフォーム

代表取締役社長 西脇 崇史氏

―創業60周年を迎えます。

カーインテリアメーカーとして、脈々とものづくりを継承してきました。社長に就任して1年半になりますが、社の歴史を振り返り、新たに何を生み出し次に つなげるかを考える期間だったと同時に、今後の方向性の礎をつくるために費やした時間でもありました。60周年の今年は、ものづくりの継承、ボンフォームブランドのさらなる向上を図るとともに、循環型社会への対応を踏まえ「環境」を視野に入れた新たな製品づくりを進めるための足掛かりの年にしたいと考えています。

―「環境」を考えての製品とは。

自動車産業はもちろん、社会は「循環型」へと著しく変化しています。自動車のエコ化が進む中で、シートカバーなどの環境負荷が掛からない製品を開発せねばとの思いを強くしています。化学製品に頼っている多くの素材は、再利用を前提としない“一方通行”なものが現状です。最も環境に負荷が掛からないのは、その素材を廃棄できる素材でつくった製品。環境にやさしい製品は、リサイクルを視野に再加工が可能だ製品も将来的には開発したいと考えています。また製造現場においても、化石燃料の使用を減らしたり不燃物の廃棄量を削減したりするなど、できることから改善していきます。

―新年に向けて。

カーインテリアもニーズの変化が著しく、車内空間の演出に軸足があった時代から、蒸れないシートカバー、消臭効果があるカバーなど付加機能製品が求められる時代へと変わっています。元号が変わりますし、時流の変化に対応しながら、人との接点を幅広くつくりたい。もう一度注目すべきは若者のニーズ、意見です。若者への発信に加え、女性への提案や介護、ペット、ベビー、アウトドアなど、今後もニーズに応えるカーインテリア商品の充実を図っていきたいと思います。

【関連紙面】Volume.2＝23面

概 要

〒503-0115 岐阜県安八郡安八町南今ヶ瀬640-1
TEL.0584-63-1777

設 立 1959年（昭和34）4月2日
創 業 1960年（昭和25）8月
資本金 40,500,000円
従業員数 79人
事業内容 自動車用繊維製品の企画・製造卸販売、室内装飾製品の企画・製造卸販売、アウトドアレジャー用品の企画・製造卸販売、ジュニアシート販売。
営業所 東京営業所、福岡営業所、札幌連絡所
中国現地法人 博福木（杭州）貿易有限公司

http://www.bonform.co.jp

社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院

理事長 松波 英寿氏

―住民の医療データを地域で共有するネットワークを構築しました。

総務省の補助金を受け、岐阜地区8市町の医師会など構築する環岐阜地区医療介護情報共有協議会が、本年1月から運用を開始します。インターネットのクラウドサービスを利用し、医療機関や介護事業所が患者の医療データを共有します。コンピューターをクラウドにつなぐだけで住民の情報を閲覧できて、送ることが可能です。電子カルテを導入する必要もありません。薬局や介護事業者と情報を共有して連携することで、住民に対してより適切な対応ができます。

―共有情報の内容は。

利便性を高めるため、画像データなどを省き、共有する診療情報はあえて絞り、県外からの患者さま対象にしていきたいです。

―医療機器の開発にも精力的です。

当法人の研究所である「まつみかりサーチパーク」が、在宅医療患者の脈拍データをリストバンド型医療機器で24時間発信し、医師らが急変時のアラートや患者の呼び出しに迅速に対応する「いつでもウォッチ®」を開発しました。県内や関東圏の一部医療機関などで昨年8月から運用しています。リアルタイムで主治医のパソコンや患者家族の携帯電話にデータが発信されます。異常値や脈拍数の変化が検知されたり、患者が呼び出しボタンを押せば音声が鳴り、消防署や訪問看護ステーションなどに対応を要請する仕組みで、医療従事者にとっても安心につながる取り組みだと思います。

情報の共有、蓄積をさらに拡大

病名、検体検査結果、処方箋の三つに限定しました。情報の共有と蓄積ができれば、医療機関は検査の重複を減らし、医療費を削減できます。病状の経過を踏まえて診断でき、住民が自分だいています。業界に対する地域の期待があってのことですので、これからも期待に応えていきたい。

―人材確保への取り組みは。

現在、社員の約半数は女性です。家庭と両立せながら安心して働いてもらうために、残業は前日までに申請しなければできないようにしたり、受注締め切り時間を早めたりしました。このルールは男性社員にも適用しています。改革を進めた結果、所定外労働時間が減、昨年2月には県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業の認定を受けることもできました。

雇用の継続は、地域に生きる中小企業の社会的使命と考えています。付加価値の高い商品をつくることが雇用の継続力になるとの思いは強いです。そして働きやすい職場であることを発信し、人材確保に結び付けていきたい。

―新年の抱負を。

住宅着工数が減っていく中、大きく売り上げを伸ばせる業界ではないのが現状です。IoT導入や人工知能（AI）の活用を進めることで、不良率低減、生産性向上につなげたい。水栓バルブ製品そのものにも生かすことで、付加価値を高めていきたい。現在、スマートフォンで盗水防止のロックを解錠できる屋外用水栓金具などの開発を進めています。他業種との連携も期待に入れながら積極的に取り組んでいきたい。

概 要

〒501-6062 羽島郡笠松町田代185-1
TEL.058-388-0111

沿 革 1902年／岐阜市加納に松波病院を開設
1933年／笠松町に松波外科医院を開設
2014年／7月北館（NORTH WING）竣工
2015年／4月病床数501床の総合病院となる
従業員数 1,250人
事業内容 理事長／松波 英寿（社会医療法人 蘇西厚生会）
松波総合病院 病院長／松波 和寿
まつみかりサーチパーク クニンク医／花立 史香
介護老人保健施設 施設長／岩井 知恵
まつみかりサーチパーク 所長／林 慎

http://www.matsunami-hsp.or.jp

株式会社水生活製作所

代表取締役社長 早川 徹氏

―2018年はどんな年でしたか。

私たちが行っている水栓バルブ事業を、地域社会のためにも守り、発展させていかなければとの思いが強くなった一年でした。7月に山県市商工会内に水栓バルブ推進委員会が発足し、委員長をさせていただいています。委員会では14社の岩手経営者が生産性向上への取り組みを一緒に考えたり、新事業を切り開くための勉強会を行ったりしています。また国や県、山県市には、補助金利用の情報提供、人材確保などあらゆる面でも手厚い支援をしていただいています。

―今年注目の新商品は。

1月から「GK 見守るクルマの保険（ドラレコ型）」の販売を開始します。ドライブレコーダーを活用して事故状況の把握や自動通報を行うほか、前方衝突や車線逸脱などの危険運転を注意喚起し、安全運転をサポートします。テレマティクス技術を反映した商品開発で、さらなる交通事故削減につなげていきます。また、認知症などで運転者に責任能力がなく、監督義務者もいない場合でも、被害者救済を図れるよう、業界初となる「心神喪失等による事故の被害者救済費用特約」を開発。こちらも1月から、追加保険料無しで自動車保険に自動セットして提供します。

―地元での企業支援について。

世界42カ国・地域のネットワークを生かし、JETROと連携し海外進出セミナーを開催するほか、地方自治体や経済団体、金融機関と協力し、事業継承や健康経営など地元中小企業の皆さまに役立つ各種情報提供、個別支援で、岐阜県を牽引するものづくり産業や観光産業の振興に取り組んでいます。今後も代理店の皆様とともに当社の商品やサービスを通じ、岐阜の皆様に安心と安全をお届けすることで、当社の使命を果たしてまいります。

概 要

〒501-2104 山県市東深瀬94-2
TEL.0581-23-4132

創 立 1954年1月
設 立 1963年12月
資本金 7,800万円
従業員数 160人
事業内容 ①総水栓類、配管継手類、浄水器類の設計、開発、製造、販売②化粧品の製造、販売③帳各号に附帯する一切の業務
事業所 本社工場（山県市東深瀬）、美山工場（山県市佐野）、樹脂工場（同）、関東営業所（東京都港区）、関西営業所（大阪市西区）、上海水生活貿易有限公司（上海市）、美山鋳造（山県市佐野）、三島化学工業（福島県郡山市）
関連会社

http://www.mizsei.co.jp

MS&AD 三井住友海上火災保険株式会社

岐阜支店長 角 洋治氏

―昨年はどんな一年でしたか。

日本各地での地震や7月の豪雨、大型台風など、大規模な自然災害が相次ぎ、一日も早く被災された方へ保険金をお届けするという、使命感をもって対応した1年でした。災害後は、各地に対策室を立ち上げ、コールセンターの人員増強など、災害対応最優先で取り組んできました。保険金支払いに必要な鑑定人の損害調査では、ビデオチャットやドローンなど先進デジタル技術を導入し、迅速な対応で早期復興を担っています。今後も地震や水害への備えが急務となる中、地震保険や水害を補償するプランなどのさらなる普及にも努めたいと考えています。

―今年注目の新商品は。

1月から「GK 見守るクルマの保険（ドラレコ型）」の販売を開始します。ドライブレコーダーを活用して事故状況の把握や自動通報を行うほか、前方衝突や車線逸脱などの危険運転を注意喚起し、安全運転をサポートします。

安心と安全を届ける商品提供

概 要

本 社 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9
岐阜支店 〒500-8844 岐阜市吉野町6-31スカイイング37西棟
TEL.058-265-6499
設 立 1918年（大正7年）10月21日
総資産 7兆982億円（2018年3月31日現在）
従業員数 14,572人（2018年3月31日現在）
事業内容 損害保険業 等
代理店数 40,267店（2018年3月31日現在）
国内ネットワーク 営業部支店113、営業課支社485、損害サポート部27、保険金支払センター221
海外ネットワーク 42ヵ国・地域

http://www.ms-ins.co.jp

明治安田生命保険相互会社

岐阜支社長 一瀬 隆仁氏

―昨年はどんな一年でしたか。

当社がこだわるアフターフォローの充実を目指し、営業職を500人、幹部層の女性リーダーを90人まで増員するという目標は年度末の3月には達成見込みです。特に当社は、働き口が狭くなりがちな子育て世代にスポットを当て、いち早く手厚い福利厚生を子育て支援などを整えて、働きやすい環境づくりに取り組んできました。本年度も営業500人超、幹部100人を目標に、厚みのある営業体制を確立します。

―特に注力したことは。

「信頼を得て選ばれ続ける、人に一番やさしい生命保険会社」というビジョンから、昨年は“やさしさ”をテーマに、お客さまとの絆を深めてきました。

「健活」通じて健康維持後押し

概 要

本 社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1
岐阜支社 〒500-8842 岐阜市金町4丁目30
TEL.058-265-0401
創 業 1881年7月9日
総資産 39兆7,925億円（2018年9月末）
事業内容 合種生命保険の引受・保全、資産の運用などの生命保険業および関連業務など
従業員数 43,168人（うち営業職員「MYライフプランアドバイザー」32,526人）（2018年9月末）
営業拠点数 支社・マーケット開発部34、営業部・営業所等1,002、1,002、法人部19（2018年10月1日）
子会社 明治安田損害保険（株）
関連会社 明治安田保険サービス（株）
明治安田システム テクノロジー（株）ほか

http://www.meijiyasuda.co.jp

無断複製・転載を禁じます